

# 副産物情勢

6月4日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																								
内臓	<p>1.国産牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年4月の成牛と畜頭数は、90.4千頭(前年比107.0%、前月比101.1%)となった。内訳を見ると、和牛42.1千頭(前年比113.8%)、交雑牛19.7千頭(同104.8%)、乳牛去勢13.3千頭(同97.1%)であった。</li> <li>○ 令和3年5月の成牛と畜頭数は、速報値(5/31まで集計)で78.5千頭(前年比100.0%)となっている。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構が5月25日に公表した牛肉の需給予測によると、6月の出荷頭数は全品種で出荷頭数の減少が見込まれることから、前年同月をやや下回ると予測している。</li> <li>また、3ヶ月平均(4~6月)について、出荷頭数(前年同期比100.9%)・生産量(同100.5%)ともに前年同期をわずかに上回ると予測している。</li> <li>○ 需要動向は、輸入代替需要・加工品需要がある部位(タン・ハラミ・小腸・シマチョウ)は堅調に推移しているが、その他部位(レバー・ハツ・ギアラ等)は投げ売りをしている間屋筋があるほど荷動きが鈍い。尚、昨年緊急事態宣言よりは動いている。</li> <li>○ 部位によってはホルズ玉まで引合いが強いことから、外食消費に加えて輸入玉の動向に注視する必要があるだろう。</li> </ul>	<p>1.東京市場内臓価格 <small>単位:円/枝肉kg</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年4月1日</td> <td>45/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年4月20日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>令和3年4月26日</b></td> <td><b>25/枝kg</b></td> <td><b>5/枝kg</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>※乳牛も同様35円/kg <span style="float:right">*豚正貫物</span></p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成31年4月1日	45/枝kg	9/枝kg	令和2年4月20日	25/枝kg	5/枝kg	令和2年7月1日	35/枝kg	7/枝kg	令和3年1月25日	25/枝kg	5/枝kg	令和3年4月1日	35/枝kg	7/枝kg	<b>令和3年4月26日</b>	<b>25/枝kg</b>	<b>5/枝kg</b>			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																							
	平成31年4月1日	45/枝kg	9/枝kg																							
令和2年4月20日	25/枝kg	5/枝kg																								
令和2年7月1日	35/枝kg	7/枝kg																								
令和3年1月25日	25/枝kg	5/枝kg																								
令和3年4月1日	35/枝kg	7/枝kg																								
<b>令和3年4月26日</b>	<b>25/枝kg</b>	<b>5/枝kg</b>																								
<p>2.国産豚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年4月度全国の肉豚出荷頭数は1449.0千頭(農林水産統計5/31公表 前年同月比100.0%、前月比95.4%)となった。</li> <li>4月の全国地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道103.7%、東北101.1%、関東98.8%、北陸甲信越98.6%、東海111.0%、近畿102.3%、中四国97.5%、九州・沖縄98.9%となった。</li> <li>○ 令和3年5月の全国と畜頭数は、速報値で1,246千頭(5/31まで集計)、前年同月比96.6%となっている。稼働日数では昨年と同じ19日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で65,589頭となっている。(前年は67,877頭/日)</li> <li>○ 農水省食肉鶏卵課令和3年5月25日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和3年6月1,276千頭(前年同月比96%)、7月1,285千頭(同95%)、8月1,290千頭(同102%)、9月1,310千頭(同97%)、10月1,450千頭(同98%)となっている。</li> <li>○ 需要動向は、加工品仕向けが多いタン・ハツ・ハラミ・小腸は堅調に推移しているが、ガツは荷余り感があるメーカーが多いようだ。</li> <li>外食・中食仕向けが多いレバー・大腸・直腸・頭肉は荷動きが芳しくない地域が多いが、輸出需要もある豚足・豚耳は好調に推移している。</li> <li>○ 外食消費が厳しい状況でも夏に向けて発生量が減少(頭数減・廃棄増)することから過剰に市中在庫が膨れ上がることはないだろう。</li> </ul>	<p>2.大阪市場内臓価格 <small>単位:円/枝肉kg</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年4月1日</td> <td>45/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年4月20日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月11日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>令和3年4月19日</b></td> <td><b>25/枝kg</b></td> <td><b>3/枝kg</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成31年4月1日	45/枝kg	5/枝kg	令和2年4月20日	25/枝kg	3/枝kg	令和2年7月1日	35/枝kg	4/枝kg	令和3年1月25日	25/枝kg	3/枝kg	令和3年3月11日	35/枝kg	4/枝kg	<b>令和3年4月19日</b>	<b>25/枝kg</b>	<b>3/枝kg</b>				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
平成31年4月1日	45/枝kg	5/枝kg																								
令和2年4月20日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和2年7月1日	35/枝kg	4/枝kg																								
令和3年1月25日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和3年3月11日	35/枝kg	4/枝kg																								
<b>令和3年4月19日</b>	<b>25/枝kg</b>	<b>3/枝kg</b>																								
<p>3.輸入牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年4月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で55.3千ト(前年比98.0%、前月比119.7%)となった。内訳は、チルドが25.6千ト(前年比90.4%、前月比112.0%)、フローズンが29.7千ト(前年比72.9%、前月比127.3%)となった。</li> <li>輸入量は、チルド・フローズンともに通関遅れや豪州等における現地価格の高騰等から前年を大幅に下回った。</li> <li>しかし、フローズンは前年の輸入量が多かったことから4月以降は前年を大幅に下回ると予測される。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構が5月27日に公表した牛肉の需給予測によると、チルドの輸入量は通関遅れや米国・豪州における現地価格の高騰等があるものの、前年の輸入量が北米現地工場の稼働停止の影響等により少なかったことから、5月、6月ともに前年同月をやや上回ると予測である。一方、フローズンの輸入量は、通関遅れや米国・豪州における現地価格の高騰等により、5月、6月はともに前年同月をかなり下回ると予測されている</li> <li>○ 令和3年4月の冷凍輸入牛レバーは63.3ト(前年比82.9%・前月比57.9%)で、国別では米国44.1t、豪州15.1t、墨国4.0tであった。</li> <li>冷凍輸入牛腸は1,425ト(前年比126.3%・前月比123.1%)で、国別では米国792.2t、豪州426.3t、墨国184.3t、加奈陀22.6tとなった。</li> </ul>	<p>3.東京市場原皮価格 <small>*交雑牛含む 単位:円/枚</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年1月5日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td><b>令和3年5月24日</b></td> <td>10/枚</td> <td><b>10/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚	令和元年7月22日	700/枚	10/枚	令和2年3月16日	500/枚	10/枚	令和2年6月15日	100/枚	10/枚	令和2年7月20日	100/枚	2/枚	令和2年9月28日	10/枚	2/枚	<b>令和3年5月24日</b>	10/枚	<b>10/枚</b>	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚																								
令和元年7月22日	700/枚	10/枚																								
令和2年3月16日	500/枚	10/枚																								
令和2年6月15日	100/枚	10/枚																								
令和2年7月20日	100/枚	2/枚																								
令和2年9月28日	10/枚	2/枚																								
<b>令和3年5月24日</b>	10/枚	<b>10/枚</b>																								
原皮	<p>1.牛原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年4月の輸出実績は、61,650枚(前年比230.6%、前月比156.5%)で、前年・前月を大幅に上回った。輸出平均価格は2,469円/枚(前年比+841円、前月比+577円)となった。国別実績は、タイ34,570枚(前年比228.0%)、ベトナム12,260枚(同204.3%)、韓国11,580枚(同207.9%)、香港1,000枚(同実績なし)、カンボジア2,240枚(同実績なし)であった。一方、ウエットブルーの輸入は、11.6千枚(前年比39.1%、前月比102.4%)、牛大判皮は20.1千枚(前年比62.6%、前月比150.4%)となった。</li> <li>○ 海外情勢は経済回復の期待感需要から引合いが強まったことで取引価格が上昇したが、夏以降は実需に合わせた動きとなって価格調整局面になると思われる。</li> <li>4月国別輸出平均価格がタイ2,073円/枚、ベトナム2,898円/枚、韓国3,009円/枚のため、過半数を占めるタイの動向が重要になるだろう。</li> <li>○ 国内情勢は相変わらずインバウンド需要等が回復していないことからタンナーは少ロットでの生産を余儀なくされている。</li> </ul>	<p>4.大阪市場原皮価格 <small>*交雑牛含む 単位:円/枚</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月16日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td><b>令和3年6月1日</b></td> <td>10/枚</td> <td><b>10/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚	令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚	令和2年3月16日	800/枚	10/枚	令和2年6月22日	300/枚	10/枚	令和2年7月27日	300/枚	2/枚	令和2年9月28日	10/枚	2/枚	<b>令和3年6月1日</b>	10/枚	<b>10/枚</b>
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																							
令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚																								
令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚																								
令和2年3月16日	800/枚	10/枚																								
令和2年6月22日	300/枚	10/枚																								
令和2年7月27日	300/枚	2/枚																								
令和2年9月28日	10/枚	2/枚																								
<b>令和3年6月1日</b>	10/枚	<b>10/枚</b>																								
<p>2.豚原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年4月の輸出実績は、1,243,614枚(前年比100.7%、前月比105.1%)で、前年・前月ともに上回った。輸出平均価格は515円/枚(前年比+122円、前月比+45円)となった。国別実績は、タイ852.9千枚(前年比105.4%)、ベトナム271.4千枚(同136.4%)、韓国21.2千枚(同54.8%)、カンボジア98.1千枚(同52.2%)、香港・フィリピン・台湾・ミャンマーは実績なし。</li> <li>○ 需給動向は堅調推移を維持しており、5月、6月も取引価格は緩やかながら値上がりしているようだ。</li> <li>○ 東京食肉市場が5/24と畜分～、大阪食肉市場が6/1と畜分～価格改定(2円/枚→10円/枚)を公表した。</li> </ul>	<p>5.油脂価格(食用向け) <small>単位:円/kg</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年8月1日</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月1日</td> <td>95</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月1日</td> <td>95</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月1日</td> <td>90</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td><b>令和3年4月1日</b></td> <td><b>85</b></td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和2年8月1日	95	95	令和2年9月1日	95	85	令和2年11月1日	95	80	令和3年2月1日	90	80	<b>令和3年4月1日</b>	<b>85</b>	80							
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
令和2年8月1日	95	95																								
令和2年9月1日	95	85																								
令和2年11月1日	95	80																								
令和3年2月1日	90	80																								
<b>令和3年4月1日</b>	<b>85</b>	80																								
レンダリング	<p>1.油脂等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5月渡しの国産食用加工油脂向け豚脂は80円/kg(据置き)、牛脂は85円/kg(据置き)となった。</li> <li>牛脂・豚脂ともにコロナ禍で外食産業が依然低迷していることから動物油脂の需要が減退、一方で、牛・豚と畜頭数が前年より堅調な動きをしていることから生脂の発生が多いというアンバランスな状況である。加工油脂メーカーの在庫は潤沢に推移しているようで、コロナ禍が続く間は厳しい状態が続くだろう。</li> <li>○ 4月マレーシア産パーム油相場は、145円(前月+10円)で高値推移している。要因は①輸出需要が旺盛、②大豆油等の植物油相場高騰、③コロナ禍による農園労働者不足が想定される。3月生産量は前月比28.4%増、月末在庫は145万トン(前年同月比83.6%)となった。</li> <li>○ 4月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月・前年とも同様であった。工業用油脂は45円/kgと前月・前年とも同様であった。</li> <li>○ 4月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月・前年と同様の63円～66円/kg辺り。</li> </ul>																									